



大阪大学・科学記者クラブ 各位

公立大学法人大阪市立大学
大学広報室

5月文化交流センター講座『福島原発事故から 今後の日本のエネルギーを考える』を開催します

大阪市立大学文化交流センターは、5月文化交流センター講座「福島原発事故から今後の日本のエネルギーを考える」を開催します。

これまでの原発に関する安全神話、福島第1原子力発電所の事故直後の報道のあり方、計画停電の混乱などから、多くの人が今、事故による汚染、原子力、自然エネルギー、放射能の影響について、正しい情報を得たいと考えています。これからの日本のあり方を考えるため、自ら主体的に「知」に触れ、理解と納得を得るための連続講座を開催します。

記

1 日時・テーマ・講師

日 時	テーマ	講 師
5月9日(水) 18:30~20:00	福島原発事故による深刻な被害と補償問題	経営学研究科 准教授 除本 理史
5月14日(月) 18:30~20:00	日本の電力体制と今後の電力改革について	経営学研究科 教授 中瀬 哲史
5月16日(水) 18:30~20:00	アメリカのエネルギー法政策と風力発電	創造都市研究科 准教授 久末 弥生
5月22日(火) 18:30~20:00	放射線被曝の科学史~X線から原爆まで	経済学研究科 准教授 瀬戸口 明久
5月25日(金) 18:30~20:00	福島原発事故による放射線の影響	医学研究科 准教授 木村 政継

- 2 場 所 大阪市立大学文化交流センター
大阪市北区梅田 1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階
地下鉄四つ橋線「西梅田」駅 7-A 出口 (徒歩約5分)
JR 東西線「北新地」駅東改札 (徒歩約3分)

- 3 申込方法 受講料 1回500円 (ただし、大阪市立大学の学生は無料)
定 員 各回120名 (先着順)

<封書>

記入事項：受講希望日、氏名、フリガナ、住所、性別、年齢、電話番号、学籍番号（大阪市立大学の学生のみ）を記入。80円切手を貼った返信用定形封筒を同封。

下記申込先まで郵送

<ホームページ>

<http://www.osaka-cu.ac.jp/faculties/bunko/>より申込

<窓口>

開館時間：月～金 9:45～21:30 土 9:45～17:30 日曜・祝日休館

窓口申込時は返信用切手・封筒は不要です。

4 申し込み・問い合わせ先

〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階

大阪市立文化交流センター

電話番号 06-6344-5425

※問合せ可能日、可能時間(月～金 9:45～21:30、土 9:45～17:30、日祝休館)

以上

【本件に関する問合せ先】

大阪市立大学 文化交流センター 担当：豊田

TEL：06-6344-5425 FAX：06-6344-5524



5月

文化交流センター講座

福島原発事故から今後の日本のエネルギーを考える

本当のところどうなのか。これが多くの人の正直な気持ちでしょう。これまでの原発に関する安全神話、福島第1原子力発電所の事故直後の報道のあり方、計画停電の混乱などから、多くの人が今、事故による汚染、原子力、自然エネルギー、放射能の影響について、正しい情報を得たいと考えています。これからの日本のあり方を考えるため、自ら主体的に「知」に触れ、理解と納得を得るための連続講座です。

9日(水)

夜 6:30~

福島原発事故による深刻な被害と補償問題

2011年3月の福島原発事故は、日本史上最大というべき環境汚染をもたらし、周辺の地域社会に深刻な被害を及ぼしています。被害の実態を踏まえながら、被害者の暮らしを回復するため補償をどうすすめていけばよいか、考えたいと思います。

大学院経営学研究科・商学部 准教授 除本理史

14日(月)

夜 6:30~

日本の電力体制と今後の電力改革について

東日本大震災時の東電福島第1原子力発電所の過酷事故について、日本の電力体制の歴史的な検討を踏まえて検証し、現時点での研究成果から今後の電力供給のあり方を検討します。

大学院経営学研究科・商学部 教授 中瀬哲史

16日(水)

夜 6:30~

アメリカのエネルギー法政策と風力発電

今、追い風に乗る洋上風力発電。アメリカ初の大規模風力発電プロジェクトの動向を中心に、再生可能エネルギー政策の展望を探ります。

大学院創造都市研究科 准教授 久末弥生

22日(火)

夜 6:30~

放射線被曝の科学史～X線から原爆まで

放射線をめぐる科学研究の歴史を振り返って、「リスク」のとらえ方がどのように変わってきたのか話し、現在の放射能問題とどう向き合えばよいか、歴史的・社会的視点から考えます。

大学院経済学研究科・経済学部 准教授 瀬戸口明久

25日(金)

夜 6:30~

福島原発事故による放射線の影響

今回の原発事故で、将来どの程度の確率的影響が予測されるか? チェルノブイリ事故やI CRP勧告などの最近の知見と福島汚染状況などから展開し、客観的な見通しを考察します。

大学院医学研究科・医学部 准教授 木村政継

受講料：1回500円(当日徴収・ただし、大阪市立大学の学生は無料)

定員：各回120名(先着順)

お申込み方法は裏面をご覧ください

5月文化交流センター講座 申込フォーマット

受講希望日に✓

- 9日：福島原発事故による深刻な被害と補償問題
- 14日：日本の電力体制と今後の電力改革について
- 16日：アメリカのエネルギー法政策と風力発電
- 22日：放射線被曝の科学史～X線から原爆まで
- 25日：福島原発事故による放射線の影響

フリガナ

ご氏名：

ご住所：大阪市内・大阪府内(大阪市外)・その他

性別：男・女

ご年齢：10代・20代・30代・40代・50代・
(10歳刻み) 60代・70代以上

電話番号：() -

学籍番号(大阪市立大学の学生のみ)：
()

対象：16歳以上の方 *住所・勤務地に関係なく申し込みます。

時間：夜 午後6時30分～8時 受付6時から

☆受講料1回500円(ただし、大阪市立大学の学生は無料)

当日受付時に当日分をいただきます。

欠席された回の受講料はいただきません。

※配布資料だけ後日ご購入の場合も、1回分500円となります。

(販売は開講月内限りです。売り切れ時も終了します)

(配布資料のない講座、事情により事後販売できない講座もあります)

お申込み方法

「先着順」です。 各回定員120名

定員を越えるまでは、受講票(又は受講許可メール)をお渡し
又は送信します。

受講票は当日、必ずご持参ください。

受講許可メールの場合は、印刷してご持参いただくか、
受講No.をお知らせください。

大阪市立大学の学生は、講座当日の受付時に学生証を呈示して
ください。

当センターホームページから

<http://www.osaka-cu.ac.jp/faculties/bunko/>

ご送信から、原則3開館日以内に返信します。

1週間たっても受講許可(又は満席の通知)メールが
届かなければご連絡ください。

封書で

➔ 右上のフォーマットに書いて切り取るか、白紙、便せん等に上記の事項を記入して、封書で下記にご送付ください。
受講票(満席時にはお断りの通知)を返送しますので、80円切手を貼った返信用定形封筒を同封してください。

申込先 〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階
大阪市立大学文化交流センター

文化交流センター窓口で

開館時間：月～金 9：45～21：30 土 9：45～17：30 日曜・祝日休館

窓口申込み時は返信用切手・封筒は不要です。(郵送申込みの場合は、80円切手貼付返信用定形封筒が必要です)

先着順で受講票をお渡しします。満席の場合はご了承ください。

定員を超えた回は、受付を終了しますので、ご了承ください。

☆ハガキ、電話、ファクスでの申込みは**無効**です。80円切手貼付返信用定形封筒が同封されていない封書も**無効**です。

☆Eメールはトラブルが多発しています。ホームページか封書をご利用ください。

・hotmail yahoo等フリーメールアドレスには届かないことがあります。

☆封書、ホームページで申込まれた場合の受講許可・不許可について、電話でのお問い合わせはご遠慮ください。

☆お申込みの際の個人情報、公開講座等のご案内、事務資料の作成に使用し、目的以外の利用はいたしません。

☆6月は、文化交流センター主催の講座はありません。

☆7月・8月(夏期講座)のテーマ、講師は6月下旬に発表します。

お問い合わせ先

大阪市立大学文化交流センター (06) 6344-5425

文化交流センターへのアクセス

- 地下鉄四つ橋線「西梅田」7-A出口(=大阪駅前第1ビル入口)(徒歩約5分)
- 谷町線「東梅田」、御堂筋線「梅田」(徒歩10分)
- JR東西線「北新地」東改札(徒歩約3分)
- JR「大阪」中央口を出て南へ、地下街「ディアモール大阪」へ下りて
大阪駅前第2ビルへ(徒歩約10分)
- 阪神「梅田」第2改札から北新地方面へ(徒歩約10分)
- 阪急「梅田」から北新地方面へ(徒歩約15分)

(所要時間は目安です)

